

バストス週報

第七二三号
昭和卅九年
二月十四日
発行

DIRETOR
KÓITI MORI
REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS, 188
C. P. 112

Bastos
C. P.

ANUAL
CR. \$

1.000,00

逸 球 7

盲 卓

去ス一月二十七日イタケラの郊外で高村ツルさんといふ(69)老婆が伯人三少年の暴行の犠牲となつた上惨殺された記事見た方は等しく被害者に同情をよせると共に、少年らしくもない淫猥と惨虐さに関りない憤怒を感じたであらう。セックスの問題、ことに青少年のそれに関する問題が論議されている時、惨殺死体を犯すなどというケースは改めて識者並に当局といわす、一般人の大いに注目すべき犯罪の一つではないであらうか。

この事件は主役の少年が十六才、マジユカンテの一人が十一才、もう一人が十七才、三人とも捕縛されているが、十一才は大人としても主犯十六歳では、凶悪犯罪でも、たとえ近所のきつわれ者であつても、法律上とを処罰することはできないであらう。

この年齢の問題はブラジルに限らず、法治国である以上必ず制定されていいて、少年の犯罪は不問に付せられるが通則のようである。しかし国によつては、犯行の内容強弱のイカンによつては、直ちに釈放することなく、感化院のような施設に收容して世間と隔離し、普通の脳情態に戻る迄保護しておくようである。

その結果、真人間になるものが何%あり救いがたいか、何程あるものか知らぬが、何程かの効果はあるにちがいない。

又少年といつても年齢で定めることで、体格や頭脳で測るのでないから、性犯罪などになると、犯人の容観なり体格などは充分一人前の大人だと思われ、極端な例を引くと、あと一ヶ月で満十八才となる少年犯罪者を然る可く留置し定年に達するのを待って、改めて捕縛したなどという話をきいたこともある。

凶暴凶悪の行爲を犯しても罪になつないことを承知の上でやる者もないとは云へない。法律の規定によつて未成年者なるが故に、犯罪を構成しないといふ、これまでの世界中の法務者の考は立派なものであると思ふが、盲点を孕んでないといふ切れるであらうか。

こんどのイタケラ老婆殺し事件でも、どのような解決となるか、今の処吾々には不明であるが、少年なるが故に恐らく処刑されることはないと思われる。三人

ALFAIATARIA IMPERIAL

重役クイブの 青年



丸山の テルイで 引立つ 丸山洋服店

ハイ・コチラ電話二十二番

うさみの お料理

うさみの お料理
とってもおいしい



こがっはりと

清潔な

お泊りの

部屋

そくそく 建増し中

どうぞお引立てのほど

食堂とお宿泊

うさみ

ロドヒャリオ前

HOTEL USSAMI

Sapataria Bastos

よいクツ、よい脚、よい姿ノ！
ヨイ・ヨイ、ヨイ
かろくて、丈夫で、値段は安い。
三拍子
そろってヨイヨイヨイ



早川靴店

組に撲殺のうき目にあい死毒の侮辱を受
 け、下手人の方は少年だからという理由
 で平然と大手を振って歩けるとなれば
 何と恐ろしい世の中であらうか、被害者
 が邦人だったからという関心や同情から
 ではなく、無法地帯がそのままに放置され
 ている、その点に關して識者はどのよう
 に考えられるであらうか
 昨年以降少女を含む婦女暴行殺人をや
 るクラーブが多く、やられる側の婦女子
 の方がたえず身辺に気をくばらなければ
 ならない、夜間外出、遠出、通学、何れ
 にしても男を見たら悪魔と思へというこ
 とになり、まことに味気ないことである
 殺された老婆の方に隙はなかったか、
 年よりだから、その方面の心配なしと長
 らく一人ぐらしであったということ、こ
 れは考えるまでもなく大盲点であった、
 田舎の一軒家の一人ぐらし、女であれば
 十六でも六十でも見さかひのない凶暴セ
 ックスにかかっていた、これは隙だらけで
 あった、老年だからという不用心は今日
 以後通用しないこととなつたと覚悟する
 必要がある。

話は別になるがニヶ月ばかり前当地で
 AとBの両氏がそれを四〇コント三〇
 コントの大金を昼間かつはらわれたこと
 がある、ある伯人少年が身分不相応な金
 をもつていたことから足がついて、共犯
 三人の少年の行爲と判つた、これまでも
 はしばしば空巣ねらいをや常習犯というこ
 とだ、非常に狡猾な少年で自白してみたり
 否定してみたり手におえないが、遂にツ
 ッパンの裁判所に送れ、その内マリリア
 へ送られたという話だ、悪いことを
 平気でする少年は、少年でもお灸をすえ
 てもらわぬとこまると、思つていたら、
 つい先日マリリアから放免になつたそう
 だ、何のことはない、又スミ位の微罪で
 いつまでも官費で養うにもあたらないと
 いうのもあるまいか。

この少年たち、しばらくはおとなしく
 しているが、又何をやりに出さずや
 町の住民は、自分のものは自分の力で守
 らねばならない、憎も婦女子が身を守る
 ように
 数十年前オカルスでシネマ帰りの母娘
 がシネマカンを出て、さみしいルアにか
 ったとき、二人のクラーブに襲われ十八に
 なる娘さんは、ツツカで顔を切られたが、犯
 人が逃げたため暴行はまぬがれた、
 警察はあつても、その時警戒のないこ
 とを知つていて、やつたわりで、やはり盲
 点をいついてくるのである、
 少年の犯罪に対して感化院のような施
 設が各所にあつてほしいものである、野
 原にされては、全く恐ろしい気がする
 (幸音)

バストス商工会新役員

バストス商工会では去る二月七日定期
 総会を開き役員の変更を行った結果左記
 の方が当選した、役員任期は二年である
 会長 前山 義雄
 副会長 太郎 田
 第一書記 小林 平
 第二書記 重道 永栄
 第一会計 守部 外治
 第二会計 阿部 五郎
 評議員 高田 森重、八重程、早川
 長橋 板垣 小茂田、宮崎
 信太
 評議員会々々長 小茂田 光 明

バストス日伯文化協会の動き

- 去る二月七日本年第一回の代議員会を
 開き左の件につき協議し決定を見た
 1. 昨年度会計報告承認の件
 2. 欠員理事決定
 3. 総務 本 田 正 雄
 学 務 前 山 義 雄 兼任
 文 化 山 中 三 郎
 4. カンホ建設委員会中間会計報告承認
 (後日印刷して各戸に配布す)
 5. 臨時総会のこと、定款に改正すべき
 箇所あり、翻訳審議の後行うこと、
 六十四年の方針
 6. 入植祭、例年の如く行う
 7. 日本語学校の開設
 8. サンパウロ文化協会加入の件
 9. 文化講演会開催について
 10. 運動会開催のこと
 11. 会費増額の件
 12. 会館便所と所有住宅向うの建設の件
 13. 生活改善について
 14. (香英返の儀は分に依り、競争になら
 ぬ様にする)こと、週報の御礼広告
 には金一封として発表する様申合せ
 すること) 以上

Escola Corte e Costura
TEREZINHA
 おしらせ
 入学しようとする方は、す
 ぐおいで下さい。
 授業は二月三日から始つて
 居ますが、まだ受付けます
 早くおいで下さい
 テレジンニア
 公認 裁縫 学校
 味野 トシ子
 R. PRES VARGAS

シネマ館の誠意

本紙前々号(七二号)記事、シネマ館の便所の臭気が客席にまで流れてくるので何とか処置して貰えぬかという投書の件、ああいう投書は館主宛に出すべきものだ、どういいうわけか、こちらに廻ってきた館主側の言

「あの建物は前所有者時代のものを譲受け、映写機を新調した以外は従来の設備のまま使用しているので、色々欠陥のあふまは、昨半暮ごろから水不足のために起ったことで、以前から持越した問題ではない。しかし何れにせよ改造するつもりで、非常口の工事と共に受請人に渡してある。受請人の方では水がなければ工事にかけられないといっているが不日着工する」とは明かたし、

と言明している。

それほど判然とした企圖があるとは知らず、便所の記事をのせたことは、いささか、館主に対し敬意を失し、大人気なことがたようだが、しかし該記事には少く筆交通は極度に発達したが、同時に事故の足らぬ点があったが、シネマ館を攻撃方も益々増大し、デザストレは珍らしくすると、営業妨害する様な意図のないない。又やっかかと思過されてしまう。

ことは、はっきりしている。ああいう投書は直接館主宛に出すべきものだ、ということき、便所問題に結びつけてユーモラスに書いたまでだ。

しかし館主側は投書によって攻撃を加えられたと思いつ友誼申斐がないと少々此の点は弁解しない。気の毒なことをしたと思っている。

以上の通り館主側では道んで改造工事に着手すると言明している。一般観客も黙るごぶことであらうし、館主とも充分意のある所を示して、シネマ愛好者に酬いることになるし、問題を掃したことは館主の誠意によるものとして在るに堪えない。

又もやデザストレ

日時 二月三日(月)午前八時頃
場所 アラクララ線 カタンツバ市郊外
人物 面川父子さん 山田悦次さん
馬次場哲夫さん 小林正名さん
板垣達志さん

州道が完成しアスファルト道になって、狂いの来ないのが特長

長い期間の使用で



世界に輝く日本製

狂わない 自動巻

オートデータ (自動日付)

39石 総金張

うす型で、美しいデザイン

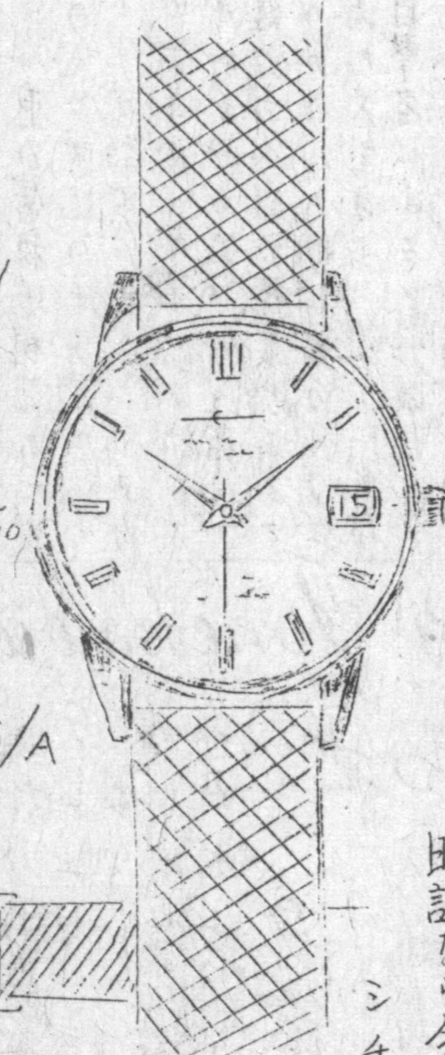
優秀中の逸品

時計なら今や

シチズン時代

CITIZEN

Precisão,
estilo e
qualidade!
CITIZEN



exponete da
relojaria do Japão

REPRESENTANTE
EXCLUSIVO
YENDO S/A
SÃO PAULO

A VENDA NAS BOAS CASAS
DO RAMO

バストスの特約店
高田時計店

薄情のようだが、他所の人なら、それでもすむが、バスター入の事故となると、これは又大変なことだ。昨年の菅井家の事故についで事故だった。しかし幸い死者は出なかつたが、面川父子は可なり重傷、山田さん、馬久場さん、これに次ぎ、板垣さん、小林さんは、やや軽い方。

去る二月三日午前二時バスター産業組合の組合員十三名は、二台のピルアに分乗ア線カタンツバ市の屠殺場視察のため出発し、同市の入口附近の十字路にかかった時デカストレが勃発した。二台の内七人のついでに前車が、十字路を過ぎて三十米も行くか行かぬの微妙時、面川千賀氏運転する此の六人組の後車が前車を追って十字路へかかった瞬間後方より全速力で走って来た大型カミニオンに後部をばねられ、目撃者によると一瞬物すごい大音響と共にピルアは空中高くはね上り一回空中で、とんぼ返りを打って、操縦席を下に地面に突込んだという。扉は両側共開いて前部後部の四人は地上にならず出され、その時相当なけがをした模様。相手の大型カミニオンも突如目前にあつたピルアを避けようとして急ブレーキをかけた為め横転し、運転手も負傷し前記の者と共に同市のサンタカリーザに入院車の由。

句評

この欄では主として俳句初出者の作句を指導する意味で評をします。俳句に興味をおもちの方のご参考になれば幸。(二月二十六日×切介の内より)

○夏瘠を羨やましがる娘かな 孝子

原句「夏やせと知らず喜ぶ女の子 (評) 太った娘が、細そりしたからたになりたいたのそむ心境を描いたもの。

○茄子胡瓜わがせとはかり出廻り孝子

原句「我が世の夏と 我が世の春といふ言葉はあるが、夏はさきなれない。それと季があまり重なるのは面白くないので訂正した。

○朝夕の膳にはいつも茄子カボチ孝子

(評) アルモサもジャンターも、食卓は、茄子カボチばかりあきあきした感いがよく出ている。

右三首の中で最後の句が一番よい。作者は末だ十六才の少女だが、中々見どころがある。

○夏やせの言葉うつくし 恋やつれ 都美

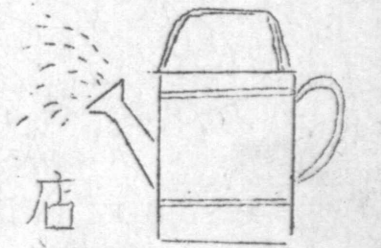
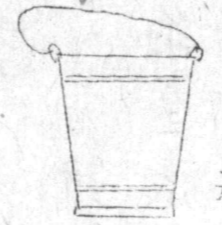
(評) 恋のためのやつれだが、夏やせといえは美しいなという句意であろう。句作はなるべく、観念で作ることを排し、寫生によって、まとめることを心がけて下さい。

○いもすきで未だ夏やせを知らぬ娘よ 都美

Funilaria Yonekawa R. DUQUE DE CAXIAS

開店御知らせ 木原ブリキ店あとに開業いたしました故 何なりと御用命 ねがい上げます。

鋳力細工一切



新しいもの安く作ります
修理もいたします
将棋クラブ
のとなり
米川鋳力店

(評) 原句は「いもがすき」が下五になつていて、これと上五へもつてゆく方が調子がよい。いもはバネドレーのことだろうが、季節的にや、すかれてはいる。しかし句作はじめての方だから、はじめから、むずかしいことはいわぬことにする。最初から人を驚かすような佳作は中々できないものです。次回には寫生的に試みて下さい。

○かたつける皿のサ茄子漬あきらられし 律子

(評) はじめの内は珍らしかった茄子漬も、もうあきらまれて皿にのつたままだという句意。この種の描み方、表現だと、茄子漬でなくとも他のもの、ラツキヨウでもキウリでも、代理できるといふヨワミがある。

○夏やせの肩にかかせる家計かな 律子

(評) わか家の家計のために働いているのだが、夏やせの肩には、重荷かという句意。原句有に重しやとあるが、感情を出さないで、さりけなく、肩にかかるといふ方が、かえって痛々しく見える。

○夏やせといえど山盛皿の飯 律子

(評) 夏やせと食の気とは別よ、といったコックイ味があつて、ユカイな句だ。俳句では「夏やせ」という季節であつても常識的に考えず、この句のように山盛めしをほくつく人物を探し出して、いただき度い。この作者も若い娘さん、大いにかんはつて下さい。

吹本菊子送別歌会作品

二月二日夜吹本菊子さんの送別の句と
 歌の集りが週報社に於て催された。連日
 の暑さも厭わず、十六名の俳人歌人が心
 を籠めた一品料理を持ちより、斯道長老
 の退植を惜しむ、真夜に至るまで飲を尽
 し盛会であった。当夜の作品一通づつ、

冬未れば冬の愚痴云々(夏未れば
 夏の愚痴云々)かくて老いゆく 菊子

励まして見送るべきか句に歌に
 睡みし友と別るるその日は 勝甫

黒き蝶の飛び来し夜の思惟昏く
 際限もなく想像ひろがる 千代子

年老いて都住いは憂かるべし
 のどかなる辺に居し君なれば 糸子

とげ含む夫の言葉も聞き慣れて
 いっしつか不惑の齢にわが居り さまよ

流し場に重ね置きたる皿ぬちに
 迷いし夕輝されざれに啼く はやし

婚姻過ぎ都念にせやく妹を
 とどむる術なきわれの悲しみ 三丘

停電の真暗さ都屋の片隅に
 蚊の線香の火の赤々と 北眠

久に逢う友と会合の席遠く
 物言いたげの笑顔を見せて 扶美

渾玻璃の鏡のあれともしらる
 四面楚歌なる友痛ましき 美津雄

定城しの松の緑葉眼にしみて
 年越し雨も止みしすがしき 羊鈴

言外に意を含ませ語す彼
 交渉なれども嫌な思ひす 孤舟

年毎の希望新らたに此の畑を
 守りつついて、いっしつかお路を過る 南天子

信頼を裏切りし日の心電図
 今の此の 差異を秤われり 助一

細江静男 著

アマゾン先生 2

○鉄砲がついで服薬させる

さて健康をとりもどした私は、あらゆる方法でマラリア蚊、ステゴミヤなどの深生源をなくし、また保菌者からの感染を絶対に予防しようとして決意した。まず山代り人足の検診にとりかかった。当時ブラジルの農村労働者はバイヤ州から東北セアラ州までの、いわゆるカチンが地帯の出身で、バイヤノ、セラアンセと呼はれてゐる。教養も低く、多くはマラリア、十二支腸虫、チフス、赤痢などの保菌者である。彼等の通ったあとにマラリヤ、チフスが流行するといわれるのが常である。今日のブラジルとは全く違った実状であった。第一番の対策としては、フランスモチュム

Vende-se Coibro de Coqueiro
 鶏舎建築用
 カイブロ (コケイロ材)
 長さは御注文の通り
 小沢 籠製造所
 ポセイロ マノエル
 井戸掘 タンキ作 下手工事
 御引受け致します 小沢内

(マラリア病菌)をバストス村へ入りこませぬことである。そのためには村の十字路の予定地の道々に病院を建てたこと。この役目をさせると同時に大いに役立った。ここへは毎日二回、ランシヤリヤからやってくるバスがある。私は山代り人足として入ってくる労働者はすべて呼が止めて、「あなたのため健康のため検査血、ことに梅毒のため」という、うたい文句で、毎日十人、十五人と検血した。そして彼が中央区の宿屋に居る。その夜のうちに結果を出し、保菌者には克明にキニニネを服薬させたのであった。一万サンパウロ市の効外にあって、抗タン研究所からワクチンを取りよせ、抗チフス、赤痢の混合したもの、を大人にさうに抗ジフテリアまでのワクチンを混合してあるものを小児というふうには、片っほしから皮下注射を実施した。これらの薬や診療費は勿論無料にしたので大部分の人は金を払わず、また教養のない人はキニニネが苦いので内服せず、に捨ててしまふ。そこでわいわいカカセルをリオから取りよせ、キニニネを包んでのませたものであった。こうしてもまだ中には近所の村へ遊びに行つてマラリヤをもつてかえる人もあった。熱を出したと聞けばすぐにこちらから助手を派遣し、ムリヤリに検血したことも二度や三度ではなかった。ある時ホリネスという新教の信者がどこからかマラリヤを持ち込んで来た。二三家族が発熱して、みんな検血して、二三日たので、例の如く助手をやつたら、「われら神と共にあり、心臓はいらない。自然になおる。放つておいてくれ」とのこと。ムカツとした私はふたたび助手を急行させた。ところが今度は鉄砲をかつぎ出して来たという。そこで私は、そのころすでに駐在していた州兵に弾丸の入っている鉄砲をかつかせ、自らの二人で談判に及んだ。だが話をきいて見れば、助手の報告がちよと大げさすぎた。難なく服薬してくれたので胸をなでおろした。

1964年1月 バストスの気温と降雨量

日	気温 °C	湿度 %	最高気温	最低気温	降雨量 mm	風向	天候	雲量
1	22.0	63	28.0	19.0	1.8	N	☉	10
2	23.0	63	33.0	19.0		NE	☉	3
3	28.0	60	36.0	20.0		NE	☉	
4	28.0	47	36.0	21.0		E	☉	
5	29.0	48	36.0	20.0		E	☉	
6	30.0	38	38.0	21.0		E	☉	
7	30.0	55	34.0	23.0		N	☉	2
8	30.0	49	36.0	21.0		N	☉	7
9	29.0	54	35.0	23.0		W	☉	6
10	28.0	53	34.0	23.0		E	☉	5
11	24.0	64	32.0	21.0		E	☉	8
12	28.0	42	35.0	21.0		E	☉	5
13	24.0	81	32.0	18.0	6.7	E	☉	9
14	26.0	47	35.0	21.0		E	☉	2
15	25.0	58	34.0	20.0		E	☉	7
16	28.0	60	35.0	20.0		SE	☉	2
17	26.0	58	35.0	23.0		E	☉	7
18	27.0	53	35.0	20.0	4.6	E	☉	2
19	26.0	46	31.0	19.0		SE	☉	10
20	26.0	52	33.0	18.0		E	☉	
21	28.0	47	34.0	18.0		N	☉	
22	29.0	48	33.0	22.0	26.8	N	☉	2
23	26.0	66	33.0	20.0		E	☉	5
24	24.0	81	31.0	22.0		E	☉	9
25	23.0	80	33.0	21.0		E	☉	9
26	22.0	90	31.0	20.0	9.2	N	☉	10
27	23.0	80	27.0	19.0		N	☉	8
28	27.0	59	32.0	19.0		NW	☉	2
29	28.0	60	34.0	22.0		E	☉	2
30	28.0	60	35.0	22.0		E	☉	4
31	28.0	67	35.0	24.0		N	☉	3
平均	26.5	59%	33.6	20.6	計 63.1			

またある時はあはれまわる男がかつぎこまれて来た。聞けばこの男は隣村の村長で、マラリヤらしい。高熱を出していたが、その内突然発狂し、狂暴を極めるので手がつけられぬという。いろいろ前症や症状を見ると、どうも脳病ではないらしい。鎮静剤やモルヒネを使っても一ニ時間しか効き目が無い。そこでともかく検血して見ると、何とこれが悪性マラリヤであった。結局キニーネの内服によって発狂状態は去り回復し非常に喜ばれた。以来彼が三四年前ガンで亡くなる迄私の親友だった。

たいへん！三っ子だ

それからどうにもならぬ便秘で発熱がつかくといふので診察すると47度の初期症状である。47度は発熱や血便のくアメリバも始めのうちには烈しい下痢がくるものだと知った。下脚部のフリタスラバは最初土まけという土の刺戟からおこる皮膚病で、これがかゆく、ひつかくために傷がつき、そこへライスマニアの菌をもつフレボトムスという小さなぬか蚊が巣つてくるので発熱するなど、はるいさなことがわかってきた。

ある夜手術を終えて一休みしていると「お産だ。せひ往診してくれ」とアフリカ系のジョウキンという男が息を切らして立っている。そのころ使っていたナイドニ十七年型を引、張り出し、ゴールドという男に運転させて隣の森の中を出発した。森のかたわらを二百メートルばかり谷間に下りると、カンテアの火のまたたきやがある。これがジョウキンの家で、妻のお産が始まったのであった。無事に生まれたので、あとは胎盤だけだからと話をし、丘の上へ上がると「オーイ、来てくれ」と叫んでいる。行ってみると「まだ一人いるらしくどうも頭のようにものが出かけている」と言う。なるほど

地に山伐人夫を入れば五千人くらいの人散在している。ほとんど馬しか通らぬ山道を二十キリ、三十キリと風の日も

今一人いた。双子だったのだ。
「もうこれで安心だよ」と森を抜け、家
もどると遠くの方で鶏が鳴いた。夜明け
なのだろう。

床に入ろうとして、みればさっきのジヨウ
を飛ばして来た。みればさっきのジヨウ
ケンである。

「先生大変だ。胎盤が出ずに又足が出て
来た。」なるほどこれは大変である。三
つ子であったわけでも、逆子に、また
篠巻から着かえて行つて生ませてやった。

その頃私は三十二歳で、東京浅草産院
でお産の練習をして行つたといえ、せい
ぜい三十あまりのお産を手がけただけで
ある。三つ子などというものは見たこと
もなかった。以来黒人仲間では「お産の
うまい医者が来た」とから安心だといふこ
とになった。ジヨウケンの子供は私が洗
礼の名付親となり、いつまでも仲よくした。

その翌年には山伐り人夫の給料のこと
から吉永という監督が黒人に射殺される
という事故が起つた。とかくこの山伐り
人夫たちは浮浪人の独身者が多く、何か
というときすぐピストルを出して撃ちまく
る。これが不幸にも山伐りの監督に命中
して死んだわけである。この事件が原因
となつて事務所側と山伐り人夫が対立し、
ある日非常に険悪な事態となつた。

その夜私の家の玄関でゴソゴソ物音が
する。日本刀をひっそり出して出て行つて見
ると、三つ子の父親ジヨウケンが猿銃をか
ついで立っている。私を事件の巻添えに
せぬよう護っていたのであつた。幸い事
務所側の幹部が、二かへ逃げてしまひ、
大事にはいたらなかつた。が、もし発砲事
件でも起つていたら、到底鉄砲の少い
事務所に勝ち味はない。全く危機一発で
あつた。

またある時は二百キロほど先きのニッ
ホランシアという町から警察署長が血相
をえて車を飛ばして来た。
「せひ診に来てくれ。家内が子供を産ん
だ出血がひどく胎盤が出てこない。大分
医者か引っぱつたが必メである。そのう
ちに出てくるからと四十キロはなれた町
へ帰つて行つてしまつた。もう来てくれ
ぬ。家内は冷たくなりかけた。」
そうでなくとも私は身体がいくつあつ
ても足りないくらいだ。私は答えた。
「私はバスターズの原始林の中で、ほかに
医者がいないから身を粉にして切りたい
。あなたも断などへは行つてくれな
い。断の警察署長の私がたのむのだから来
てもらいたい。人間を一人殺すか生かす
かの境だ。」

というわけで私はO型の血液の持主を
二三人車にのせ、救急の準備を全部して
行つた。みればなるほど血圧は低いがお
腹も小さいし、胎盤はすでに外れて子宮

口に止まっていた。輸出をしておいで胎
盤鉗子で引っぱると、簡単に出来て出
血も殆んどなかつた。へその緒は引きち
がつてしまつてあるし、これでは道具が
なかつたから始末に困つたことである。
署長は涙を流して喜んだ。ソーセイジ
だのチーズなど山程のおみやげをもち
てかえつて来た。(つづく)

テサスレ後報

ああ遂に二人死亡

去る二月三日カタランツバ付道で交通
事故を起し重傷傷バスターズ側六名を出し
たことは本号三頁に記載した通りだが六
人中、最も重傷と見られていた面川氏三
男(21)と山田悦二(42)氏は、遂に七日朝
息を引取つた。力市の日本人会の好意によ
り立派な柩を贈られ七日夜バスターズの自
宅へそれ／＼送り届けられた。翌八日午
后五時東本願寺に於て合同告別式が行わ
れ、六時深と共に野辺送りとなつた。山
田氏方の遺子たちの棺にすがつて哀号す
るさま、可愛相で到底正視するにしのび
ないものがあつた。
尚さく処によると、負傷者中の馬欠場さ
んは意識は明瞭だが腰の骨、右手の骨を
折り重傷との事。面川千賀男さんの容体
も樂觀をゆるさない由、
切に快癒をいのる。

俳句学校募集俳句

課題

○ 草いされ(生い茂つた草むらがり炎
暑にむせかえるような句と温気
を発するのをいふ)

例句 草いされとめゆく園の夕かな
草いされ尾はほきなき馬の後

○ サンクラス(夏の強烈な紫外線をよけ
色メガネ)

例句 商人の声者なりけりサンクラス
サンクラスとればいつもの妻の顔

×切 二月末日 通じて六句道のこと
下手、上手を問ひませぬ。初心者の
方々に御投句を期待して居ます。
○ 投句先 バスターズ週報社俳句係

帰化手続をして

善良な伯国人と

なりませしよ

二月十四日(金) 8時半 十五日(土) 10時 *Rebelião de 15-Agoosto - 1945*
 東宝 八月十五日(日)の動乱
 鶴田浩二 千葉真一 岩崎加根子
 江原真二郎 今井健 中山昭二

抗戦が平和か、凄しい迫力と感動を描いた終戦前夜、民族の興亡を賭けた死の反乱!

カルナバル 二月十一日(火) 十二日(水) 両夜とも8時半 *No Carnaval do Crime*
 柘竹天然色 悪の華 津川 桑野 杉浦 芳村 伴 三井 市川翠扇

二月十八日(火) 十九日(水) 両夜とも8時半 *Um Romance na Noite*
 柘竹天然色 この日美わし 岩下志麻 高峯三枝子 下元勉
 津川雅彦 山下潤二

淡雪消ゆるともわが恋の想いは愛うじ 春を待つ人に陽光さす日はいつぞ
 二月廿八日(金) 八時半 廿九日(土) 十時 *Color Assalariado de Vitorioso*

日活 青年の椅子 石原裕次郎 水谷良重 滝沢修
 天然色 売られたケンカは買ってやる、ぶつとかまえた八方破れ、天下を吞んで突き進む 熱血社員石原裕次郎!
 芦川いづみ 宮城千賀子 宇野重吉

二月十六日(日) 十七日(月) *Vistas em Jolia*
 東映 真夏の情事 石浜朗 泉京子 小山明子
 天然色

Aviso de Cine - Bastos

二月廿一日(金) 廿二日(土) *Bandeirinhas Banquetones*
 東映 執勢揃関八州 片岡千恵蔵 小林裕子
 天然色 北大隆欣也 扇千景
 松方弘樹

お知らせ

来る二月十七日(月)十八日(火)
 帰化申請手続きに
 当事務所員二名出張致します
 今回は百名を突破いたし
 ますよう、早々御申込下さい

申込みは 小林平行 松崎貞則
 岡本一二へねかいます

手続場所 バストス産業組合
 シツチ方面は加藤与太郎訪問の予定
 前四十一月中旬に五十三名取扱
 いました。

この絶好の機会をおのがし無き様
 おすすめていたします。

サンパウロ市キンチノホカイウ六街

京野四郎事務所

Bar e Sorveteria Yaguira Irmãos

やぎうらのソーシ
 やぎうらの特製ソルベッ
 やぎうらのセルベージヤ
 やぎうらのクルツシユ



カザメント用ペーシとベビータ

やぎうらイルモンズ

シネマカン 上角